

第17回ISOE運営委員会議事概要

- ・ 月 日 2007年11月14日(水)～16日(金)
- ・ 場 所 OECD/NEA 本部 AB 会議室 (パリ、フランス)
- ・ 出席者

[ISOE 幹部会]

水町 渉(議長、日本)、V. Riihiluoma(副議長、フィンランド)、
V. Simionov(次期議長、ルーマニア)、
Ted Lazo、B. Ahier(OECD/NEA)、P. Deboodt(IEAE)

[ISOE 技術センター]

C. Shieber、L. D'ascenzo(欧州技術センター)、D. Miller(北米技術センター)、
林田芳久(アジア技術センター)

ISOE 加盟国代表 約20名(14カ国)

・ 議事概要

14ヶ国の代表が出席し、JNES水町参与を議長として、議事が進められた。

1. 関連国際機関の活動 (OECD/NEA CRPPH、IAEA)

CRPPH 及び IAEA の活動について事務局から報告があった。5月の CRPPH 会合では水町議長が ISOE の活動報告を行った。また、今後より一層 CRPPH と ISOE の協力を進めていくことが示された。IAEA の報告では、BSS (国際基本安全基準) の改訂作業の状況が紹介された。

2. 国別報告

参加各国 (米国、仏、ドイツ、スペイン、ルーマニア、スロベニア、英国、カナダ、チェコ共和国、スロバキア、ブラジル、スウェーデン、フィンランド、日本) より、原子力発電所での被ばく状況、被ばくに影響した事象・作業、今後の見通し等が報告された。

3. 2007年のISOEの活動報告

事務局と技術センターから下記のISOEの2007年の活動成果が報告された。

- ・ 各技術センターの活動内容
- ・ 第16年次報告書案
- ・ 被ばく線量データ収集状況
- ・ シンポジウムの開催
- ・ ISOE ネットワークウェブ開発状況

被ばく線量データを ISOE ネットワークのウェブ上で入力するシステムは来年6月までテストを行った後インストールされる予定である。ATCが開発した文献検索ツールのウェブサイトを組み込み結果の紹介も行われた。

4．WGDA（データ分析ワーキンググループ）報告

事務局より、ISOEデータの精度の問題、データ評価のための指標、作業管理図書改訂に対するWGDAの協力等についてのWGDAでの検討結果が報告された。

5．EGWM（作業管理図書改訂タスクチーム）

OECD/NEA 図書「原子力産業における作業管理」の改訂作業の状況、改訂図書の構成案が紹介された。

6．ISOE規約の更新（2008年 - 20011年）

現在のISOE規約（Terms and Conditions）の期限が本年12月までであり、改定された新規約が採択された。なお、この規約で、現在の運営グループの呼称、“Steering Group”を変更し、“Management Board”とすることになった。

7．ISOEニュースの発行、ISOEパンフレットについて

ISOEニュースの編集、発行について議論し、今後は年2回定期的に発行することとなった。また、ISOEパンフレットの改訂案が事務局より報告された。今後、事務局にて最終調整を行う。

8．2008年の活動計画

事務局より2008年の活動計画案が報告され、承認された。

9．BSS（国際基本安全基準）改訂検討グループの設置

ドイツより、IAEAのBSS（国際基本安全基準）改訂にISOEメンバーの意見を反映して欲しいという要望があり、ISOE内にサブグループを設置して対応することとなった。

10．次回会合

来年の運営委員会は日本の京都で11月10日～12日に開催することが決定された。これはISOE国際ALARAシンポジウム（13日～14日）と合わせて開催される。

以上